

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

農・商工・観光を連携した人が輝く交流体感都市七尾の再生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

七尾市

3 地域再生計画の区域

七尾市の全域

4 地域再生計画の目標

七尾市は、七尾港を海の玄関口とし、古くから能登地域の政治、経済、文化の中心地として栄え、歴史的価値の高い能登国分寺跡や七尾城跡などの史跡、青柏祭の曳山行事や熊甲二十日祭の杵旗行事などの貴重な有形・無形の文化財が数多く存在し、高い技術力を誇る七尾仏壇や田鶴浜建具などの伝統産業が集積している。

また、能登島とそれを取り囲む七尾湾やその沿岸部などが能登半島国立公園に指定されており、豊かな自然が残っている。その自然を背景に、ブランド化に取り組んでいる「能登野菜」、「いきいき七尾魚」など新鮮な食材や開湯1200年の歴史を持つ和倉温泉などの恵まれた地域資源を活かした観光が地域の大きな産業となっている。

本市の現況は、少子高齢化の進展や経済活動の低迷等による若年人口の流出などから、平成17年の61,871人（国勢調査）から平成22年の57,915人（平成22年国勢調査速報集計結果）と6.39%の減少となっている。

平成21年度65歳以上の高齢者が人口に占める割合を示す高齢化率は、29.6%（石川県統計）であり、石川県平均よりも1.7ポイント上回っている。

平成17年の国勢調査による産業別就業者数の割合は、第一次産業が6.8%、第二次産業が27.5%、第三次産業が65.2%となっており、平成12年と比べ第一次産業、第二次産業ともに減少しているが、第三次産業については増加となっている。

さらに、これらの社会・経済状況を反映し、当市を管轄するハローワーク七尾の一般有効求人倍率は石川県管内よりも低い状況にあり、非常に厳

しい雇用情勢が続いている。

人 口

区 分	平成17年	平成22年	増減率
石川県	1,174,026 人	1,170,040 人	-0.34%
能登地域	325,042 人	310,019 人	-4.62%
七尾市	61,871 人	57,915 人	-6.39%

(資料：平成22年度国勢調査速報集計結果)

七尾市産業別就業者数の割合 (単位：%)

区 分	平成12年	平成17年	増減差
第一次産業	6.9	6.8	-0.1
第二次産業	30.9	27.5	-3.4
第三次産業	62.1	65.2	3.1

(資料：国勢調査)

一般有効求人倍率

対象年	七尾管内	石川管内	全国
平成20年	0.91	1.12	0.88
平成21年	0.46	0.51	0.47
平成22年	0.56	0.57	0.52

(資料：石川労働局)

こうした背景から、七尾市の地域再生に向けた分野別の課題は、以下の点があげられる。

- ① 農業分野については、近年、市内の水産加工会社が農業参入し、ブランド野菜である「能登野菜」等の付加価値の高い複合経営を展開している。しかし、地域全体で見ると水稻を主要作物とする零細農家が大勢を占め、米価の低迷による採算性の悪化や生産基盤である作業効率の高いほ場整備の遅れから農業従事者は、平成7年度の4,929戸から平成17年度の3,780戸と減少し、担い手の確保が求められている。また、安定した農業経営には所得の向上が必要であり、生産のみならず生産者自らが加工、販売を一体的に行う人材の育成が課題となっている。
- ② 商工業分野については、天然の良港を持つ地域特性から水産加工業が盛んで、主に練り製品、冷凍食品、塩蔵品等の加工品が製造・販売されているが、その多くが中小企業で飲食料品小売業の年間商品販売額は、平成11年度の270.2億円から平成19年度の195.3億円 (資料：七尾

市統計書)と減少し、さらに事業後継者の不足、ニーズの多様化に対応した経営ができていないことが多い。

このため、中小企業経営の安定化に向けた支援や技術伝承のための人材育成が課題となっている。

- ③ 観光業分野では、能登半島最大の観光・宿泊拠点である和倉温泉や豊かな自然、海や山の新鮮な食材、伝統的な祭りや歴史的建造物等の観光資源に恵まれている。

しかしながら、景気の行き先不安による消費の低迷や地域間競争の激化等により、和倉温泉への入り込み客数は平成11年度の117万7千人から平成22年度の97万6千人(資料:七尾市観光交流課)と減少している。

このような状況の中、既存観光資源の魅力向上と観光ニーズに対応した受入れ体制の整備が課題となっている。

このように、和倉温泉をはじめとする観光資源、能登野菜や七尾湾を中心とする豊かな自然がもたらす農水産物資源などの魅力ある地域資源を十分に活かすきれていないため、産業界における連携不足を起因として、地域産業の行き詰まり感が否めない。

そこで、これらの課題を解決するため、地域資源を活用した農水産物のブランド化、産業人材の育成や交流人口の拡大及び企業誘致活動などの本市の重点施策と連携し「地域雇用創造推進事業」に取り組むことで、産業の振興による経済の活性化と地域雇用の創出・拡大につなげていく。

【目標達成の指標】

地域雇用創造推進事業の実施による新規雇用者の合計

計画期間終了時 137名

(1年目 37人、2年目 47人、3年目 53人)

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

七尾市では、農業生産法人以外の農業参入支援や農水産加工物を活用した商品開発・販路の開拓による食品製造業の経営基盤強化を推進し、さらに、和倉温泉における学生合宿や台湾を中心とした外国人旅行客等の誘客活動等を進め雇用の創出を図り、人が輝く交流体感都市を目指していく。

併せて、支援措置である地域雇用創造推進事業を実施していくことで地

域を支える農業、商工業、観光業に関わる人材を育成し行政、経済団体等が一体となり、産業の振興による地域経済の活性化と雇用の創出を目指す。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 基本方針に基づく支援措置による取り組み

地域雇用創造推進事業（B0902）

事業主体 七尾市地域雇用創出協議会

七尾市、七尾商工会議所、能登鹿北商工会、能登わかば農業協同組合、中能登森林組合、石川県漁業協同組合ななか支所、和倉温泉観光協会、石川県商工労働部労働企画課、ジョブカフェ石川能登サテライト

事業期間 平成23年7月から平成26年3月

事業内容

地域重点分野として、①農業振興の分野、②商工業振興の分野、③観光業振興の分野を設定し、これに関わる「能登野菜」のブランド化や地元農水産物を活用した商品開発等の取り組みと連動し、以下の事業を実施することで、これらに必要となる農業の経営基盤強化や特産品の開発、販路の開拓、食材を消費する観光業のおもてなし技術を持った人材を育成し、雇用の創出と地域産業全体の活性化を目指す。

I 雇用拡大メニュー

(1) 農商工連携応援セミナー

生産者と商工業者を対象とし生産と消費の拡大を図るため、農商工連携の具体的な取り組み事例を学びながら、ビジネスマッチングの機会を創出し新たな事業創出を支援する。

II 人材育成メニュー

(1) 6次産業化育成セミナー

農業に係る専門家を講師として招き、求職者に対し農産物の生産から加工、販売までの一連の知識・技術を習得させ農業分野における雇用に創出する。

なお、6次産業化とは、農林水産物の生産だけでなく、食品加工（第二次産業）、流通、販売（第三次産業）にも農業者が主体的に関わることによって、加工賃や流通マージンなどの今まで第二次・第三次産業の事業者が得ていた付加価値を、農業者自身が得ることによって農業を活性化させることである。

(2) 商品開発力育成セミナー

商品企画、パッケージ開発等のノウハウを有する専門家を講師として招きセミナーを開催するほか、市内食品製造会社での職場見学・体験を行い求職者等に対して、商品開発に係る知識、技術を習得させ関連分野における雇用を創出する。

(3) 七尾ブランドの営業力向上セミナー

七尾市がブランド化を進める「能登野菜」や「いきいき七尾魚」、これらを活かした加工品等の知識を深めるとともに、営業・販売のノウハウを有する専門家を講師として招き、新たな販路を開拓するためのマーケティング技術を持った人材を育成し、関連分野で雇用を創出する。

(4) インターネット情報発信セミナー

パソコン操作やインターネット活用ノウハウを有する専門家を講師として招き、求職者に対して、七尾市の地域ブランド等に係る情報をインターネットで域外に発信したり、インターネット上のショップで通信販売できる技術を持った人材を育成し、関連分野での雇用を創出する。

(5) 販売士資格取得セミナー

販売士資格取得のノウハウを持った講師を招き、求職者に対し営業で必要となる販売士資格の取得を図りつつ市内の小売店で直接消費者に対し、七尾産品を販売するための知識や技術を持った人材を育成し関連分野における雇用を創出する。

(6) おもてなし向上セミナー

販売店や旅館で接客技術を有する専門家を講師として招き、和倉温泉等で必要となる質の高い接客技術の育成を図り関連分野での雇用を創出する。

Ⅲ 就職促進メニュー

(1) 就職フォローアップの開催

各種関係機関と協力し本事業を利用した事業者、求職者を対象とし

て、就職面接会及び個別相談・見学会を実施することにより、求人・求職のマッチングを行い、雇用拡大を図る。

(2) 広報PR

協議会のホームページに就職情報やセミナーの開催情報を提供する。また、パンフレット、新聞広告等を活用し就職に関する情報提供を行う。

5-3-2 基本方針に基づく支援措置によらない独自の取り組み

① 6次産業化農村レストランチャレンジ事業

地域の農水産物や山菜などを生産・加工するグループ等による地域食材の地産地消型レストランに取り組み、所得の向上を図る。

事業実施主体 市内農産物加工グループ等

② 七尾市担い手育成総合支援協議会事業

農業の担い手育成、所得の向上に資する取り組みを支援し農業振興を図る。

事業実施主体 七尾市担い手育成総合支援協議会

③ 能登野菜育成七尾鹿島協議会事業

当地域において、特産化に取り組んできた野菜の振興及び伝統的農産物の発掘、地域ブランド商品の開発を図る。

事業実施主体 能登野菜育成七尾鹿島協議会

④ 企業誘致活動

市外企業が市内で工場を新設する時、市内企業が工場を増設する時に、投資額の一部及び市民常時雇用者に対し助成を行う。

事業実施主体 七尾市

⑤ 起業家育成事業

市内外の起業予定者、起業して間もない者に起業に必要な知識を習得させ起業による雇用の創出を図る。

事業実施主体 七尾商工会議所

⑥ のと・七尾人間塾開催事業

企業人材育成と産学官のネットワークの構築を図り地域経済の再生と人材育成を図る。

事業実施主体 のと・七尾人間塾運営委員会

⑦ 産業化資源事業化可能性調査事業

市内企業が行う新技術・新製品の研究開発において必要な予備的調査を実施することにより、国・県等の研究開発助成制度への採択や効果的な製品開発につなげる。

事業実施主体 七尾市内事業者

⑧和倉温泉誘客支援事業

都市圏への事業展開やイベントの開催、当温泉からの2次交通利用者への助成、そして街並みの魅力づくりなどを行うことで、和倉温泉への誘客を図る。

事業実施主体 和倉温泉旅館協同組合、和倉温泉観光協会

⑨台湾観光団体誘客事業

サイクリング団体やゴルフ団体など台湾人団体の誘客を図るべく、ツアーの誘致やモニターツアー等を実施する。

事業実施主体 七尾市、(社)石川県観光連盟

⑩合宿等誘致事業

学生合宿や修学旅行の誘致を通じて、交流人口の拡大と地域活性化を図る。

事業実施主体 七尾市

6 計画期間

認定を受けた日から平成26年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

毎年度、七尾市地域雇用創出協議会において、アンケート調査等により雇用状況についての検証を行い、取り組みに対する評価を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし